



ゲートボール

会場地 : 加東市（旧社町）、洲本市（旧五色町）

競技紹介

ゲートボールは、T字型のスティックでボールを打ち、3つのゲートを通させ、コート中央のゴールポールに早く当て、上がることを競う競技です。

クロッケーという球技をヒントに北海道で生まれ、「健康・体力づくり運動推進全国大会」で紹介されたことなどがきっかけとなり、この後、高齢者のスポーツとして急速に全国に広まりました。現在では、小・中学校でも実施される機会が増え、高齢者以外の層にも広がっています。また、国内はもとより、海外にも普及しています。

軽い運動量の外、頭脳を使うプレーやチームワーク等が魅力となっています。ゲームの中で重要な役割を果たす「タッチ」や「スパーク打撃」を使ってチームが勝つための作戦を立てましょう。

【タッチ&スパーク打撃】：「タッチ」とは、自球を打撃して他球に当てると成立します。その場合は、「スパーク打撃」（足の下で自球に他球を接触させて、自球を打撃して他球を弾き出すこと）を行います。さらに「スパーク打撃」が成立した後、「継続プレー」の権利が得られます。

競技方法

1チーム5人による対抗戦を行います。試合時間は30分です。

先攻チームは自分と同じ番号のついた赤ボール（奇数番号）を、後攻チームも同じ番号のついた白ボール（偶数番号）を1番の選手から順番に打っていきます。スタートエリアから第1ゲートに向かって打ち、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートを通させ、最後にゴールポールに当てるとその選手は上がりになります。先に5人全員が上がったチームが勝ちとなります。30分間で勝負が決しない場合は、それぞれのチームの総得点数で勝敗を決めます。

得点は、第1ゲート、第2ゲート、第3ゲートの通過に成功するとそれぞれ1点ずつ、合わせて3点、そしてゴールポールに当てると2点の合計5点が選手1人の最高得点になります。従ってチーム5人全員が上がると25点となり、これをパーフェクトゲームといいます。



競技場の概要

【会場】

加東市社第三グラウンド

会場は、社町の南西部（国道175号線沿い）に位置し、サッカー場やソフトボール場などがあります。行事では、サッカー場とソフトボール場に、23コートを設定して開催する予定です。



（右写真：加東市社第三グラウンド）

五色台運動公園「アスパ五色」多目的グラウンド

多目的グラウンドは、豊かな自然の中でゲートボールの他、野球、ソフトボール、陸上、サッカー、グラウンド・ゴルフ等幅広くご利用されています。



第18回瀬戸内オープンゲートボール大会・第4回近畿地区女子ゲートボール選手権大会の様子